



Vol.12

FACULTY OF GLOBAL INFORMATICS

書籍の特典動画制作を経て VRoidで勉強を楽しく！

国際情報学部国際情報学科2年
中央大学高等学校（東京都）出身

橋本 咲弥

追加などもここで行います。

これらの工程のうち、一番大変かつやり甲斐を感じるのは、「①構成・画面デザイン」です。何も決まっていない状態から形にしていくのは、とても時間がかかります。



すし大変です。ただ、自分の好きな要素を詰め込める過程でもあるので、一番楽しいのもまたこの部分であると感じています。

きっかけ

私が特典動画制作に携わるきっかけとなったのは、1年次の講義の課題です。その講義は、WordやExcelの操作方法について学ぶもので、課題の内容は「操作画面を映した動画を制作する」というものでした。私はせっかくなので楽しいものを作ろうと思い、ほかの講義で取り扱ったVRoidを用いて、3Dキャラクターが操作方法を説明する動画を制作しました。これが幸運にも担当の先生の目に留まり、同学部教授の岡嶋裕史先生にご紹介いただくこととなりました。その後、1年次のうちに、岡嶋先生が執筆されている書籍にて特典動画を制作する機会をいただき、現在も携わらせていただいています。

3Dキャラクターを動かし、自分の声

制作の流れ

特典動画制作の流れは以下の通りです。

- ①構成・画面デザイン→②セリフ原稿作成→③説明資料作成→④音声録音→⑤キャラクター操作→⑥動画編集

- ①では、動画の構成決めや、背景色・BGMの選定などを行います。
- ②では、事前にいただいた台本をもとにセリフを組み立てます。初学者でも理解できるように、台本にない説明を補足的に付け加えることもあります。
- ③では、解説のために使用するスライドなどの資料を作成します。
- ④・⑤では、キャラクターの操作や声当てを行います。ここでは、滑舌よく話すことや、キャラクターのイメージを保つことを意識しています。
- ⑥では、準備した各データを用いて1本の動画に仕上げます。画面切り替え時のアニメーションの挿入や、キャプションの

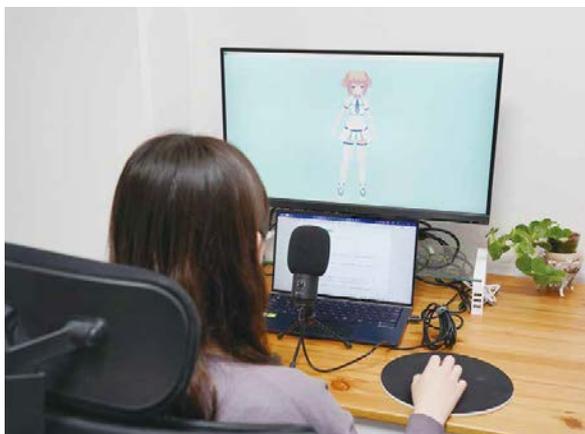
VRoid動画制作

私は現在、IT系資格対策本の特典となる動画制作に取り組んでいます。この動画では、書籍の内容をテーマごとに5分程度で解説します。扱っている内容が堅いものなので、視聴者が飽きてしまわないよう「VRoid」という3Dキャラクターを登場させるなど、楽しく学んでもらえるよう工夫を施しています。「同じことをするのなら、楽しい方がいい！」というのが私のスタンスで、

「VRoidで苦手を勉強を楽しく明るくすること」を目標に、日々制作に励んでいます。



コラボした書籍の例



制作風景



岡嶋先生との打ち合わせの様子

を当てたものを大学に提出するわけですから、ためらう部分はかなりありました。しかしながら、少し勇気のいることに挑戦したことで、たくさんの方のすてきな経験をさせていただいています。

過去の経験

特典動画制作に携わる中で何よりもうれしと感じるのは、自身の過去の経験が生かされ、やりたいことが形になっている点です。

その経験というのは2つあります。

1つ目は、動画制作の経験です。私が動画制作に初めて取り組んだのは、小学校のパソコンの授業でした。数人で簡単な動

画を制作し、それを発表し合うというもので、そこで動画編集の面白さに魅了された私は、家族や友人に向けて動画を制作するようになりました。もちろん、高度な編集技術は持ち合わせていませんでしたが、好きという気持ちから趣味としてその後も動画編集を続けていました。

2つ目は、演劇の経験です。私は小学生のころから声優になりたいという夢を持っていたので、その練習のためにと中学校では演劇部に入学しました。そこから演劇の楽しさに魅了され、演劇活動も継続していました。

どちらにおいても秀でた才能を持っていたわけではありませんが、動画制作と演劇の両方を継続してきた人はそう多くはありません。特典動画制作の仕事は、まさにこのような経験の積み重ねが形になったものだと感じています。

最後に

私は、書籍の特典動画制作を経て、「一歩踏み出す」といふことがある。「過去の経験はどこかでできっと生かせる」という2つのことを、身を持って実感しました。本来自分が描いていた夢とは違う形かもしれないが、何かに挑戦したことや、興味を継続してきたことは、どこかで必ず役に立つと思います。だからこそ、私は今後も自分の経験が生かせる特典動画制作の仕事を継続しつつ、より良いコンテンツを制作できるように挑戦を続けていきたいです。